

8/13 午後

川内再稼働に抗議

民医連など各団体声明

九州電力が川内(せんだい)原発1号機(薩摩川内市)を再稼働させたことに対して各団体が11、12の両日、抗議し、中止を求め、声明をだしました。

全日本民主医療機関連合会は、国民世論を無視した再稼働の強行は、「周辺住民の生命

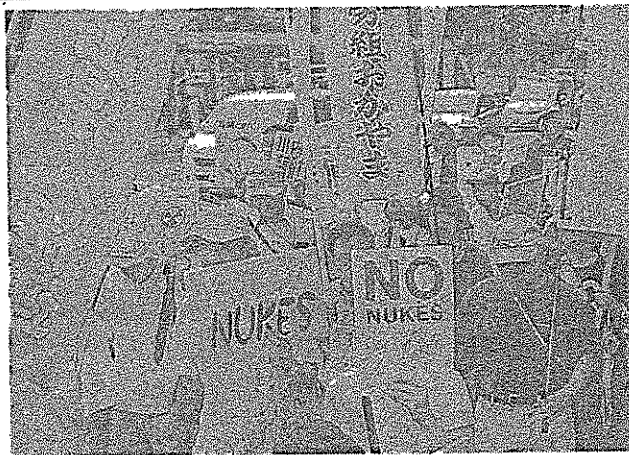
や安全より電力会社の利益を優先する暴挙であり断じて認められない」と批判。日本国民救済会は「福島第1原発事故が、住民の生存権・財産権をはじめ基本的人権を根こそぎ奪ってしまつたように、原発は憲法と相いれない存在」と指摘していま

す。婦人民主クラブは、安倍晋三首相への抗議文で「事故の責任もあいまいであり、原発再稼働は絶対許すことができません」としています。日本宗教者平和協議会は「核兵器とも原発とも人類は共存できない」は宗教者としての基本的命題です」として、原発ゼロの願いを実現するために奮闘するとしています。

住民の6割が反対

川内再稼働に岡山で抗議デモ

原発ゼロをめざすイレブンアクション岡山 実行委員会は12日、九州電力川内原発1号機



川内原発1号機再稼働に抗議し、デモ行進する参加者=12日、岡山市

(鹿児島県)の再稼働に抗議するデモをしまつた。約50人が「もうけの

ために動かすな。電気は足りてる、原発いらぬ」と唱和し、岡山駅前まで行進しました。花田雅行代表は「川内原発の地元では住民の6割が反対している。10月には2号機を再稼働させる動きがあるが、何としても1号機を停止させよう。全国で抗議の声が上がっている。岡山からも止めよう」と呼びかけました。

参加した妊婦(42)は「国民が原発をなくそうと言っているときに再稼働してしまつた。なんとか食い止めた」と語りました。

昼休みを利用して参加した女性(30)は「川内が再稼働したことによって、他の原発まで再稼働されないように、なんとかしたい」と述べました。